



平成 28 年 12 月発行
第 33 号
発行元：福生市立中央図書館

福生市熊川 850-1
TEL：042-553-3111
<http://www.lib.fussa.tokyo.jp/>

オススメ本 コーナー

晴れた日は 図書館へ行こう

緑川聖司 / 著
ポプラ社 (二〇一三年)

春休み。小学五年生の茅野しおりは、自転車で図書館に向かっていた。しおりはとても本好きな少女で、今日も本との出会いを待っていた。しかし、今日はとある女の子と出会い、本の不思議な謎に巻き込まれることになると思いきや、しおりの本を読むうちに、しおりの本に対する気持ちと自分の本に対する気持ちを重ね合わせていくでしょう。あなたも晴れた日は図書館に行こう！



5分て笑える おバカで愉快な物語

このミステリーがすごい！
編集部 / 編
宝島社文庫 (二〇一六年)

「本を読みたいけど、忙しくて読めな〜い」こんな経験ありませんか？そんな人にお薦めしたいのがこの本です。意外な結末やクスッと笑ってしまうような内容を楽しめる物語が二六作品も載っています。その一作一作も短いので少しの時間で読めます。また、シリーズの「ぞっとする怖い話」や「胸がいつぱいになる物語」もあるので併せて読んでみてください。



王様ゲーム

金沢伸明 / 著
双葉社 (二〇〇九年)

ごく普通の生活を送っていた伸明たち。しかし、十月十九日の午前0時00分。その生活は、一変した。王様と名乗る人物から命令が下される。命令に背けば死。次々と死んで行くクラスメイト達を見送りながら、最後に取り残された伸明は……。王様の正体とは……？三十二人の負けられない戦いが始まる。



太陽の塔

森見登美彦 / 著
新潮社 (二〇一三年)

この本は森見登美彦先生のデビュー作です。舞台はクリスマスの嵐が吹き荒れる京の都。別れた恋人を研究と題して遠く眺める主人公の疾走感あふれる失恋譚です。ライバルからの嫌がらせに次ぐ嫌がらせ、荒れる大学生活、時折浮かぶ淡い思い出。



アナザーホリック ランドルト掟エアロソル

西尾維新 / 編
CLAMP / 原作
講談社 (二〇一六年)

ヒトこそこの世で最も摩訶不思議なイキモノ……。何かしら願いを持つ者しか訪れることのできない店。そこにバイトとして仕える四月一日。店に流れ着くように舞い込む話を形はどうあれ解決して行くお話です。3章しか収録されてませんが非常に読みやすいです。作家は戯言シリーズや物語シリーズなどでおなじみ西尾維新。原作はCLAMPが漫画で描いた「×××××」で、どちらもある人なら怪異譚作家×怪異譚作家という奇跡のような作品です。眼球地球論、なんだかあり得る気がします。見えないとは思いませんが。



是非冬の内に読んでみて下さい。今年のクリスマスは、車上に招き猫を招いて読んでみて下さい。さっと愉快な気持ちになりますよ。

イラストコーナー

